

APRESIA Systems メディアコンバーター

ApresiaLightMC(-PoE)シリーズ

Ver. 1.00.04

リリースノート

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂履歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2020年9月30日	新規制定
A	2021年3月31日	新機種追加(ApresiaLightMC-FX、ApresiaLightMC-FX-PoE)
B	2021年4月23日	APLMC-10004-RC001 ・Apresia12000-48GX-PSR との EFM-0AM 接続適用バージョンを追加

はじめに

ApresiaLightMC(-PoE)シリーズ 1.00.04 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関する重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

リリースバージョン

今回リリースバージョン	1.00.04
前回リリースバージョン	1.00.03

適応機種一覧

シリーズ名称	製品名称
ApresiaLightMC シリーズ	ApresiaLightMC-SX
	ApresiaLightMC-LX
	ApresiaLightMC-BX20D
	ApresiaLightMC-BX20U
	ApresiaLightMC-BX40D
	ApresiaLightMC-BX40U
	ApresiaLightMC-FX
ApresiaLightMC-PoE シリーズ	ApresiaLightMC-SX-PoE
	ApresiaLightMC-LX-PoE
	ApresiaLightMC-BX20U-PoE
	ApresiaLightMC-BX40U-PoE
	ApresiaLightMC-FX-PoE

対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

製品名称	対応バージョン
ApresiaLightMC-SX	ApresiaLightMC Ver. 1.00.03 以降
ApresiaLightMC-LX	
ApresiaLightMC-BX20D	
ApresiaLightMC-BX20U	
ApresiaLightMC-BX40D	
ApresiaLightMC-BX40U	
ApresiaLightMC-FX	
ApresiaLightMC-SX-PoE	
ApresiaLightMC-LX-PoE	
ApresiaLightMC-BX20U-PoE	
ApresiaLightMC-BX40U-PoE	
ApresiaLightMC-FX-PoE	

輸出する際のご注意

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

商標一覧

Apresia は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

APLMC Ver.1.00.04 リリース情報(2020年9月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

機能エンハンス

サポート内容の詳細は、関連する「CLI マニュアル」、「SW マニュアル」、「ログ・トラップ一覧」、「MIB 項目の実装仕様」を参照ください。

APLMC-10004-RC001

内容 Apresia12000-48GX-PSR との接続において、EFM-OAM 相互接続をサポートしました。EFM-OAM 機能が有効な Apresia12000-48GX-PSR と接続することで、障害、電源断監視、loopback による経路状態確認をリモートから行うことが可能です。コマンド、MIB、ログの詳細は関連資料をご参照ください。
(Apresia12000-48GX-PSR 適用バージョン：5.04.13 以降)

関連 -

APLMC-10004-RC002

内容 ログイン/ログアウトの syslog をサポートしました。

関連 -

APLMC-10004-RC003

内容 EFM-OAM 機能において、対向メディコンの USER ポートリンク状態を通知(AIS)する syslog とトラップをサポートしました。

関連 -

APLMC-10004-RC004

内容 リンクパススルー機能(LPT)において、強制リンク断を通知するトラップをサポートしました。

関連 -

APLMC-10004-RC005

内容 独自トラップにおいて、variable をサポートしました。

関連 -

APLMC-10004-RC006

内容 ループ・プロテクション機能において、ループ検出を通知するトラップをサポートしました。

関連 -

APLMC-10004-RC007

内容 標準 MIB において、標準 IP-MIB をサポートしました。

関連 -

APLMC-10004-RC008

内容 標準 MIB において、標準 DOT3-OAM-MIB をサポートしました。

関連 -

仕様変更

APLMC-10004-RC009

内容 Web GUI において、HTTP/HTTPS のセッションタイムアウト時間の初期値とパラメーターを変更しました。

関連 -

修正

APLMC-10004-RC010

内容 Web GUI の https 証明書において、パスフレーズ(暗号化保護)有りにすると証明書をアップロードできない問題を修正しました。

関連 -

APLMC-10004-RC011

内容 DHCP(BC)パケットが管理ポートと USER/LH ポート間で透過される問題を修正しました。

関連 -

APLMC-10004-RC012

内容 PoE LED トラップの Variable 値が文字化けする問題を修正しました。

関連 -

APLMC-10004-RC013

内容 装置起動時において、USER ポートから不要なパケットを送信する問題を修正しました。

関連 -

APLMC-10004-RC014

内容 リンクパススルー(LPT)において、LPT 無効時に LH ポートのファイバー抜去後も EFM-OAM の状態が " Active state " のままになる問題を修正しました。

関連 -

APLMC-10004-RC015

内容 LH ポートのオート・ネゴシエーション設定を無効(1G Full 固定)にした場合、USER ポートのリンク状態が不安定になる問題を修正しました。

関連 -

APLMC-10004-RC016

内容 アクセス制限機能において、接続を許可する端末の IP アドレスを設定し TELNET または SSH で接続後、アクセス制限機能を無効にしてセッションを切断した後も約 10 分間、コンソールポートから TELNET または SSH セッションが残っているように表示される問題を修正しました。

関連 APLMC-10003-ER001

APLMC-10004-RC017

内容 著しい CPU 高負荷時に TELNET が切断され、CPU 負荷率が下がった後も TELNET 不可が継続される問題を修正しました。

関連 -

APLMC-10004-RC018

内容 SNMP 機能において、" show snmp mib ifmib ifIndex " コマンドを投入した場合に ifDescr 値が正しく表示されない問題を修正しました。

関連 -

新機種対応

APLMC-10004-RC019

内容 下記の機種に対応しました。

-ApresiaLightMC-FX

-ApresiaLightMC-FX-PoE

関連 -

ApresiaLightMC(-PoE)シリーズ
Ver.1.00.04 リリースノート
Copyright(c) 2020 APRESIA Systems, Ltd.
2020年9月 初版
2021年4月 B版

APRESIA Systems 株式会社
東京都中央区築地二丁目3番4号
(築地第一長岡ビル8階)

<https://www.apresiasystems.co.jp/>